

船舶事故等調査報告書

平成23年6月30日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第23号	
事故等種類	のり養殖施設損傷	
発生日時	平成23年1月26日（水） 11時10分ごろ	
発生場所	千葉県富津市富津漁港北西方沖 富津北灯標から真方位305° 2,500m付近 (概位 北緯35° 20.2′ 東経139° 47.4′)	
事故等調査の経過	平成23年1月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート <small>ジェットフィン</small> Jet Fin、5トン未満（長さ7.14m）	
船舶番号、船舶所有者等	230-19339神奈川、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	本船 二重反転式推進器前翼に曲損及び後翼に折損（翼数各3枚） 施設 のり養殖施設2棚損傷（1棚の長さ約40m、幅約12m）	
事故等の経過	本船は、船長が同乗者2人を乗せ、富津漁港北西方沖を南西進中、平成22年1月26日11時10分ごろ、のり養殖施設に進入して機関が停止し、同施設に損傷を与えた。 本船は、推進器にのり養殖施設の網が絡網して航行不能になり、海上保安庁に通報し、漁船によって救助され、富津漁港にえい航された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2、視界 良好 海象：波高 約1m	
その他の事項	船長は、本船を購入したばかりであり、前の所有者が係留していた浦安のマリーナから平塚のマリーナに本船を回航していたが、東京湾内を航行したのは初めてであった。 本船は、操縦室窓のワイパーが故障しており、波しぶきにより前方が見えにくい状態だった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、富津漁港北西方沖を南西進中、船長が、適切な見張りを行っていなかったことから、のり養殖施設の存在に気付かず、同施設に進入したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、富津漁港北西方沖を南西進中、船長が、適切な見張りを行っていなかったため、のり養殖施設の存在に気付かず、同施設に進入したことにより発生したものと考えられる。	